

◎産業建設部所管



問 花いっぱい事業の情
報発信は。

答 インスタグラムや
ホームページ、タウン
情報誌などでPRをし
ている。冬から春にか
けては菜の花を植えて
いるが、菜の花が有名
なスポットに比べ集客
力がない。継続して情
報発信をすることと
もに、エミフルに来る人
に「恋泉畑」を口コミ
で拡散してもらえれば
と考えている。

問 農業振興係の時間外
が多いが、対策は。

答 職員が体調不良によ
り7月から3月まで休
職したため、係員の負
担軽減のため課長と補
佐等が業務を力バーし
た。本年度も農業振興
係の人数に変更はない。
管理職の力バーにより
係員の負担軽減ができ
るよう努めたい。

問 はだが麦プロジェクト
とレンタサイクル事
業の現状は。

答 はだが麦プロジェクト
トは、地方創生推進交
付金が終了し、自主財
源で事業を行っている
が、新たな財源確保に
は至っていない。

レンタサイクルは、
平成30年度から3年間
実施した。年間目標台
数を360台に設定した
が、3年間平均で81台
と数字が伸びず、費用
対効果を鑑み令和3年
度から中止した。

新たな事業としては
「サイクリングの日」
のイベントを利用し
て、相乗効果で展開し

たいと考えている。
(9ページ参照)

問 一般町道整備の課題
に「国の予算が減少し
つつある」とあるが、
国・県の支出金は年々
上がってきている。今
後、国の予算が削減さ
れることがわかってい
るのか。

答 一般の町道拡幅事業
については、年々国の
対象となるメニューが
少なくなっているが、
通学路の安全対策での
歩道整備は国の重点事
業となっているため国
の事業は採択されると
考える。



問 土地の有効利用の進
捗状況及び課題は。

答 土地利用の在り方は
都市計画室が検討して
いる。人口減少がある
中で住宅地を新たに設
けるのは現実的な話で
ないと考える。

松山広域の中では、
工業用地を広げる余地
はあることから工業用
地の確保に向けて動い
ている。

また、住宅地につい
ては、新立・本村の中
の部分について何とか
することが今後の課題
である。

◎教育委員会所管

問 スクールサポートス
タッフ設置事業の当初
予算では3名配置の予
定が実績は2名になっ
ているが理由は。

答 県の補助金を見込ん
で3名分の予算を計上
していた。最終的に補
助金が2名分しか付か
なかったため2名の配
置とした。

意見

各校区に1名ずつの
3名配置が望ましい。
補助金がなくても一般
財源で配置し、教職員
の負担軽減を図ってほ
しい。

問 学校施設環境改善事
業の成果で「消費電力
の削減を図ることがで
きた」とあるが、年間
の削減量の見込みは。

答 LEDへの変更によ
り消費電力は削減され
たが、数量の把握は難
しく把握できていな
い。

問 学校建設費の備品購
入費の執行率が50%を
切っている理由が入札
減少金となっているが
予算設定は妥当か。

答 予算額は、入札担当
課の見積もりによるも
ので、妥当だと考えて
いる。備品購入の執行
時に精査し、購入を見
合わせたものもある。

問 学校生活支援員の確
保が課題だが、支援員
の候補者をリスト化し
て把握しているのか。

答 候補者リストは作成
していない。昨年度は
募集した結果、応募が
あったので通常の運営
ができた。

問 放課後子ども教室事
業に国県支出金がない
理由は。

答 令和2年度から補助
要件にコミュニティス
クールの導入等が求め
られたため対象から外
れた。